

登録コード	SSG05610	開講年度	2026				
授業題目	特別研究（生物学ユニット）					担当教員	東城 幸治
英文授業名	Special Research（Biology Unit）					副担当	
単位数	6	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	不定期		
講義室					備考		
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】				【授業の達成目標】		
	2 4 SSカリ・理学						
	～24SS【DP3】それぞれの研究分野における高度な専門的知識とグローバルな情報収集・発信能力				進化生物学分野の研究課題において、最先端の研究を把握するとともに、未解決課題にはどのようなものがあるか、といった判断をできるようにする。		
	2 6 SSカリ・理学、 2 5 SSカリ・理学、 2 4 SSカリ・理学						
	【DP4】創造性豊かな優れた研究・開発能力				進化生物学分野における未解決課題であり、かつ重要性の高い課題を峻別し、自ら意義のある研究課題を考案するとともに、その課題解決のためのアプローチを提案できるようになる。すなわち、オリジナリティのある研究課題を、自ら発案できるスキルを身につける。		
	【DP5】専門知識に基づいた見識を持ち、その妥当性を理論的に説明し、議論する能力				進化生物学分野におけるオリジナリティのある研究課題を、自ら発案できるようになり、その課題の重要性やアプローチの妥当性を自ら説明できるようになる。すなわち、オリジナリティのある研究を自ら推進することができるスキルを身につける。		
	2 6 SSカリ・理学、 2 5 SSカリ・理学						
	【DP3】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力				進化生物学分野の研究課題において、最先端の研究を把握するとともに、未解決課題にはどのようなものがあるか、といった判断をできるようにする。		
(2)授業の概要	系統進化・進化生物学分野における自らの研究課題を立案し、実際に調査・研究を遂行し、得られたデータを元に考察し、論文作成するまでの一連の研究活動を実施する。毎週の研究室内のセミナーに参加しながら、研究活動の進捗状況を研究室のメンバー間で議論し合いながら、研究の方向性に関する軌道修正を行う。また、研究を遂行する各段階において、関連分野の研究集会や学会での発表を行い、関連分野の専門家等からの意見等を参考にしながら、よりよい修士論文作成を目指す。						
(3)授業のキーワード	系統、分類、進化、発生、生物地理、生物多様性						
(4)授業計画	1) 研究計画の立案（研究課題の設定・研究手法の計画立案） 2) 研究の遂行 3) セミナー活動を通して研究計画の軌道修正 4) 関連する研究会・学会での成果発表・研究計画の軌道修正 5) 研究のブラッシュアップ 6) 修士論文の執筆・投稿論文の執筆						
(5)成績評価の方法	修士論文、および口頭発表・質疑応答の内容等により総合的に評価する						
(6)成績評価の基準	1) 系統進化学分野における適切な研究課題の選定能力を有する 2) 自ら設定した研究課題に対して、適切な手法でその究明に取り組む能力を有する 3) 関連分野に関する幅広い知識を身につける 4) 関連分野における最先端の研究内容を理解できる能力を有する 5) 自身の研究成果をわかりやすく発表することができる 6) 自身の研究発表に関する専門家からの意見や質疑を理解し、適切な応答ができる 7) 自身の研究内容を修士論文として纏め上げることができる（的確な論旨、論理的な展開） 8) 修士論文の内容をわかりやすく口頭発表することができる（的確な論旨、論理的な展開） 以上のすべての項目を高いレベルで満たす場合には「 S」評価とする おおよそ達成できたばあいには「 A」評価 以下、達成の度合いに応じて段階的に評価をするが、 7) 修士論文をまとめることができなかった場合、あるいは 8) 修士論文の内容をわかりやすく口頭発表することができなかった場合には「不可」とする						
(7)事前事後学習の内容	研究活動を実施することから、自身で設定した研究課題に関連する分野の関連論文や関連書籍などを自身で調べるような普段の学習は必須である						
(8)履修上の注意	受講希望の段階で、指導教員としっかりとした打ち合わせが必要						
(9)質問,相談への対応	随時受け付ける						
【教科書】	指定しない						
【参考書】	指定しない						